

特定非営利活動法人サマリア 実践報告

特定非営利活動法人サマリア
代表 黒田 和代
(精神保健福祉士 社会福祉士)

2022年9月13日
「空き家活用型の支援付きサブリース住宅拡充と
事業持続性を確保する事業」合同研修会



沿 革

2008年 5月ごろから東京都のホームレス自立支援事業に関わった社会福祉士3名で活動開始
(役員所有物件1室)

リーマンショックの影響...年末から年明けにかけて「年越し派遣村」

2009年 10月にNPO法人 シェルター4カ所に増室

2015年 「見守りつきアパート事業」がWAMの助成事業に採択
シェルター4カ所+「見守りつきアパート」3カ所
法人後見開始

2016年 支援事業の一部がフードバンクとして独立
(→NPO法人フードバンクネット西埼玉)

2017年より住宅セーフティネット制度始まる(国土交通省)

2018年 埼玉県より居住支援法人の指定を受ける

2020年 **新型コロナの影響で、生活に困る人が急増 抱樸の事業に応募**

シェルターと「見守りつきアパート」が所沢市、狭山市、東松山市に合計28室となる。

2022年 東松山が独立(一般社団法人ハーネット)

サマリアの活動は、現在所沢市内に借り上げ物件合計30室、そのうち12室は7月から「無料低額宿泊所」に。



理 念

- 「すべての社会的弱者の良き隣人である」

ミ ッ シ ョ ン

- 権利擁護
- その人の「尊厳」を大切にする
- エンパワメント

活動のエビデンス

- ソーシャルワーカーの倫理綱領（日本ソーシャルワーカー連盟）

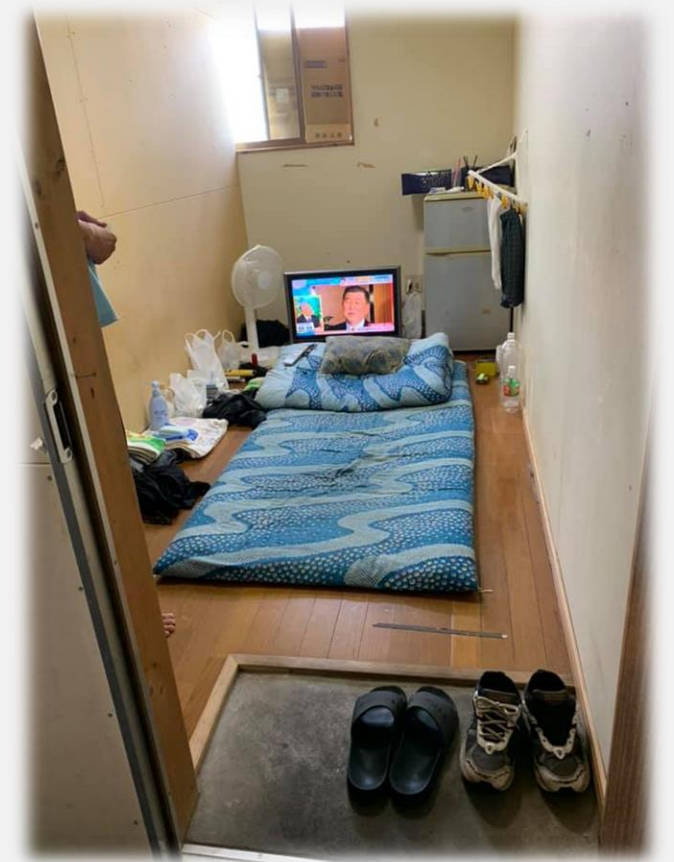


埼玉県の居住支援を取り巻く状況とニーズ

- ・ 首都圏に位置し東京都に隣接する地域であるにもかかわらず、住まいの支援について東京都の格差が顕著
- ・ 住まいを失った人に対して厳しい対応、悪質な「貧困ビジネス」の存在
- ・ JR沿線地域（さいたま市、川口市など）と私鉄沿線地域の支援格差

「サマリア」のニーズ

- ・ リーマンショック以降年々増加する生活困窮対応ニーズ
 - ・ → ボランティアベースの活動として限界
 - ・ （やめるにやめられない状況下でスタッフが疲弊）
- ↓
- ・ 抱樸の事業を活用して、事業化を図り、安定した運営を目指す



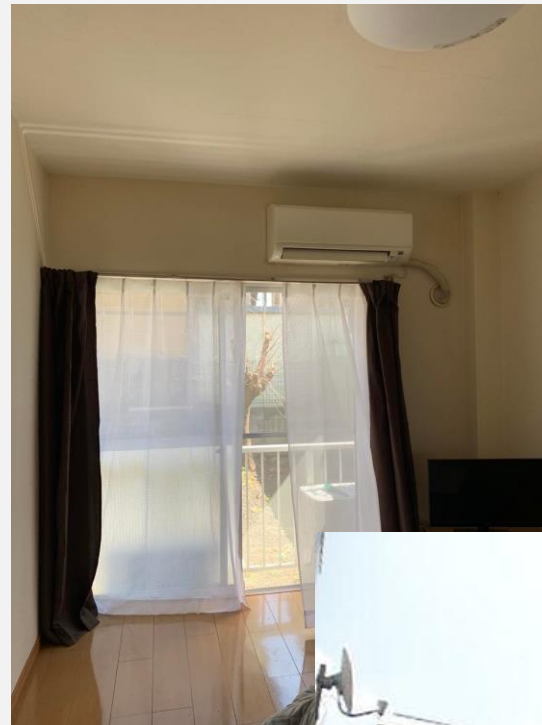
物件確保に当たって...

所沢市の賃貸物件の特性

- 80年代に建築された学生向けの物件が豊富
- 学生の利用がなく、空き部屋豊富
- 駅近、病院やスーパー、金融機関が近くにあるのに家賃廉価

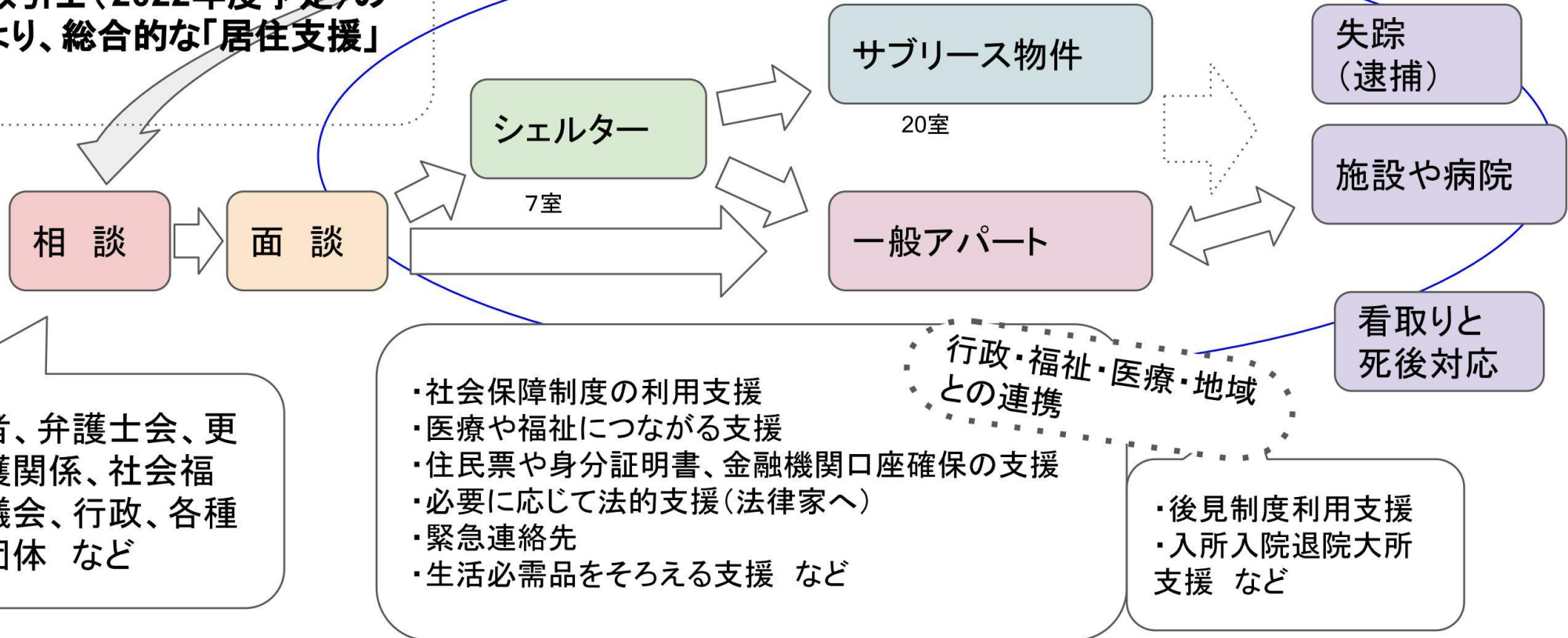
サマリアの活動が、ある程度地域に周知されている状況にあり、理解は得られやすかった

女性の利用者も見込んで、スタッフも「自分もここで生活できる」と思える部屋づくりをした



NPO法人サマリア「居住支援法人」実施体制図

社会福祉士、精神保健福祉士、宅地建物取引士(2022年度予定)の配置により、総合的な「居住支援」を実現



2022年4月1日現在

生活見守りサービス＝安心して暮らし続けるための支援

「空き家活用型の支援付きサブリース住宅」 サマリアの場合



相談

- 本人
- 関係機関
- 他団体



入る人を限定しない 「シェルター」

- 生活保護の申請等、差し当たって必要な制度利用
- 住民票を置いて生活再建の基盤整備
- 生活課題の整理と解決のためのプランニング



希望者は「見守り付き
アパート（支援付きサ
ブリース住宅）」へ

- 障害や病気、高齢などの事情で、日常的な支援が必要な人
- 完全に一人の生活が心細い人、寂しい人

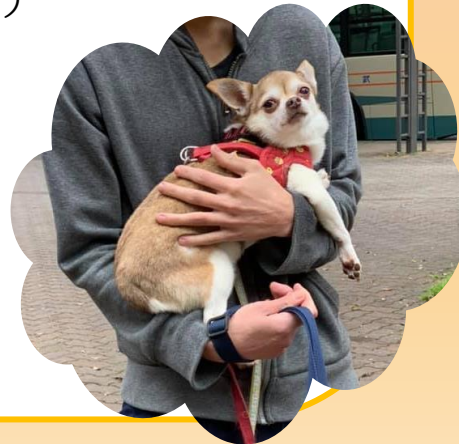


自信がある人は
一般アパートへ。

うまくいかなくな
って「見守り
アパート」に来
る人もいる

生活見守り付きアパート 生活見守りサービスメニュー

- ◆定期訪問（頻度はその人の状況による）
希望面談（定期訪問以外に面談希望ある場合）
- ◆電話やメール、ラインでの随時相談対応（時間の取り決めはなく、スタッフに無理ない範囲で夜間休日も対応）
- ◆金銭管理サポート（希望者のみ、別途規定有り）
- ◆手続き支援、窓口同行（長時間に及ぶ場合や遠距離移動を伴う場合は別途規定有り）
- ◆受診同行、入退院支援（必要に応じて）
- ◆福祉や医療のサービスコーディネート
および導入支援
（地域の関係機関と密な連携）
- ◆法的な問題がある場合は、
法律家の紹介



友の会活動（任意参加の交流活動）

必要に応じてフードバンク提供品の支給

交流室活動

動物や多世代との交流

近隣トラブル介入、対応

看取り、死後対応

料金と経費

- 料金 家賃 47,000円
- 水光熱費 実費で本人負担
- 生活見守り料金 家賃に含む
- 金銭管理サポート 1か月5,000円
- 携帯電話貸出 1か月5,000円
(超えた場合は実費)

- 宅配弁当希望 1日一食 一食500円

※契約時に敷金2か月礼金2か月必要 (分割払い可)

ひと月の料金

(携帯電話と金銭管理、平日弁当)

$$47,000 + 5,000 + 5,000 + 10,000 = \mathbf{67,000円}$$

本人の手元に残るお金 だいたい5万円前後

サマリアが大家さんに支払うもの

- 家賃 29,000円
- 管理費 3,000円
- 24時間駆けつけサービス 1,500円
- 一部屋 合計 **33,500円**
- 宅配弁当 一食 450円

一部屋当たりの単純な収益 13,500円

ほか経費

- 駐車場代 2台 7,000円×2台分/月
- 火災保険、保証会社
- スタッフ 社会福祉士、精神保健福祉士、宅建
居住支援専従 常勤1 (補助金対象)
- ほか 常勤1 (一部補助金対象)
- 非常勤2
- ボランティア3

事例

ケース1 医療につながらない妄想強固な女性

ケース2 乱暴者と前評判高かった男性

ご清聴、ありがとうございました。

